

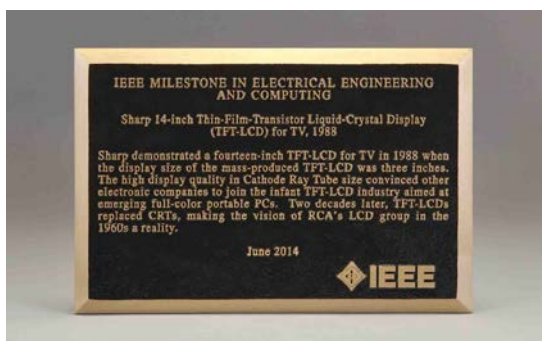
ブラウン管から液晶に家庭用テレビを置き換えるなど、液晶産業の発展に貢献

## 「テレビ用14インチTFT液晶ディスプレイ」が『IEEE※マイルストーン』に認定

シャープが1988年に世界に先駆けて開発した「テレビ用14インチTFT液晶ディスプレイ」が、電気・電子・情報・通信分野における世界最大の学会であるIEEEより、世界的に権威のある『IEEE マイルストーン』に認定されました。家庭用テレビをブラウン管から液晶に置き換えるなど、液晶産業の発展に大きく貢献したことが評価されたものです。

『IEEE マイルストーン』は、電気・電子・情報・通信分野において、開発から25年以上経過し、地域社会や産業の発展に多大な貢献を果たした技術革新を称える表彰制度です。当社技術の認定は、2005年の「電卓の先駆的開発」、2010年の「太陽電池の商業化および産業化」に続くものであり、同一の個人、団体に3件の認定を受けるのは国内では当社が初めてです。

今回認定された「テレビ用14インチTFT液晶ディスプレイ」は、3インチクラスのTFT液晶ディスプレイが主流だった1988年に、ブラウン管テレビに匹敵する画面サイズとフルカラーの高画質表示を実現できることを実証した、画期的な開発成果です。これを契機に、各企業がTFT液晶の技術開発と生産設備への投資を加速させ、1990年代前半には薄型で低消費電力のTFT液晶を採用したカラーノートパソコンの需要が飛躍的に拡大。TFT液晶産業の黎明期を迎えました。その後、パソコン用モニター、液晶テレビ、スマートフォンなど、TFT液晶を採用した製品が次々と創出され、液晶産業は半導体に次ぐ規模のエレクトロニクス産業に発展しました。



IEEEから贈呈される記念銘板（写真）とその記載内容

IEEE MILESTONE IN ELECTRICAL ENGINEERING AND COMPUTING  
Sharp 14-inch Thin-Film-Transistor Liquid-Crystal  
Display (TFT-LCD) for TV, 1988

Sharp demonstrated a fourteen-inch TFT-LCD for TV in 1988 when the display size of the mass-produced TFT-LCD was three inches. The high display quality in Cathode Ray Tube size convinced other electronic companies to join the infant TFT-LCD industry aimed at emerging full-color portable PCs. Two decades later, TFT-LCDs replaced CRTs, making the vision of RCA's LCD group in the 1960s a reality. June 2014 IEEE

※ IEEE(正式名称: The Institute of Electrical and Electronics Engineers)  
アメリカに本部のある世界最大の電気・電子技術者による非営利団体組織(学会)であり、「アイ・トリプル・イー」と称されています。世界中で42万人以上におよぶ会員を擁し、コンピューター、電子、通信、電力、航空、バイオなどにおいて、先進的な取り組みがなされ、各々の技術分野で指導的な役割を担っています。